

☎(03)3248-2101(代表) ☎(03)3248-2113(財務部株式担当直通)

郵便はがき

料金受取人払

京橋局承認

2844

差 出 有 効 期 間 平 成 1 5 年 1 月 31日まで

1 0 4 8 4 0

7 0 5

東京都中央区築地6-19-20 ニチレイ東銀座ビル

> 株式会社ニチレイ 財務部 行

- իլիկաիկիկիկիկիակիակիակիկորկիակիկիկիկիկիկիկի

	フリガナ		
お名前		_	歳 男・女
ご住所	〒		都 道 府 県
		市区郡	
TEL.	()	
ご職業			
株 式 投資歴	a. 1年未満 c. 3年以上5年未満	b. 1年以上: d. 5年以上	3年未満

ご協力ありがとうございました

株主メモ

期 3月31日

3月31日(そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)

利益配当金支払株 主確定日

上場証券取引所 東京・大阪・名古屋・福岡・札幌

公告掲載新聞 日本経済新聞

名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

みずほ信託銀行株式会社

同 事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

郵便物送付先 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 電話お問合せ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

☎ 0570 - 000324 (専用ダイヤル)

☎(03)3642-4004(代表)

同 取 次 所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店

みずほアセット信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店







証券コード:2871

ontents	中間連結決算ハイライト 3
Jontonts	中間連結決算概要 4
	グループ中期経営計画について 9
	中間単独決算ハイライト 10
5	中間単独決算概要
1,	KEY WORD 13
^	INTRODUCTION14
くらし へ 笑	商品開発 STORY 15
	株式の状況
彦 真	会社概要
٢	
顔 と 安	I A
	The state of the s
心 を お	
を	
お	
届	
	3
け	
L	
t	
表紙絵の画家プロ	
○ 勝田三歩 E1950年神戸市に生	
1976年芦屋芸術学院 夫君とともにイラスト・キ	
作会社を設立。数多くのキ	マラクター商品
を世に送り出す。1987年	₹NHKテレビ

「婦人百科」に講師として出演し、 作品が全国に放映される。







代表取締役社長 浦聖光人

グループミッション・ビジョン

ミッション …………【使命・存在意義】 くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する。

ビジョン ………【めざす姿】

ニチレイ・グループは、卓越した食品と物流 のネットワークを備える「食のフロンティア カンパニー」として、お客さまにご満足い ただける優れた品質と価値ある商品・サ ービスを創造・提供し、広く好感と信頼を寄 せられる企業として、社会とともに成長し ます。

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお喜び申しあげ ます。第85期中間事業報告書「HOPPE(ほっぺ)」をお届けするに あたり、日頃のご支援に心から厚く御礼申しあげます。

当中間期の連結業績につきましては、売上高が水産品・畜産 品事業などの増収により前年同期比2.3%の増加となり、営業利 益および経常利益は大幅な増益となりました。中間純利益につ きましては、特別損失が増加したものの前年同期をやや上回り ました。

当社グループは、常に成長し続ける企業集団をめざし、「グル ープ中期経営計画(2001年度~2003年度)」に基づき重点経営施 策の実行に鋭意取り組んでまいりました。しかしながら、回復 の兆しが見えない不安定な経済情勢のもとで、2003年度経営目 標(連結)の達成は困難であるとの判断に至り、計画目標を修 正することといたしました。当社は一部施策の追加を行うとと もに、低温物流事業と食品事業をコア事業と位置付けた成長戦 略の展開を通じ、今後とも収益力の改善に努めてまいります。

なお、食品関連業界におきましては、牛肉の偽装表示、法定 外添加物の使用、基準値を超える残留農薬の検出など、さまざ まな問題が発生し、生活者の皆さまの食に対する信頼が大きく 揺らぐこととなりました。

当社グループにおきましても、法定外添加物や中国産冷凍ほ うれん草の残留農薬による商品の自主回収に至ったことを真摯 に受け止め、信頼回復に向けて全力で対処してまいります。ま た、株主の皆さまにご心配をおかけしましたことをここに深く お詫び申しあげます。

当社グループは、自然派の食品企業として「安全・安心」をベ 一スに置きながら、食の楽しさをご提供するとともに、生活者 の皆さまのご健康に貢献できる企業集団であり続けたいと願っ ております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援、 ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

平成14年12月

中間連結決算ハイライト

(年度/単位:百万円) 営業利益 (年度/単位:百万円) 当期純利益(年度/単位:百万円) 株主資本 (年度/単位:百万円) 売上高



(注)連結通期予想(平成14年11月8日公表)は、公表時点における情報に基づき判断されたものです。実際の業績につきましては、経営環境の変化等によ り記載した予想とは異なる結果になる可能性があります。

	X	分	単位	平成12年9月中間期	平成13年9月中間期	平成14年9月中間期
売	上	高	百万円	281,368	279,858	286,339
営	業	利 益	百万円	11,343	6,090	9,511
経	常	利 益	百万円	9,847	4,806	7,906
中	間純	利 益	百万円	1,362	2,818	2,858
1 株 当	当た り 中	中間 純 利 益	円	4.38	9.06	9.20

	<u></u>	}	単位	平成13年3月期	平成 14 年 3月期	平成14年9月中間期
総	資	産	百万円	367,770	353,385	354,686
株 🖠	E j	本	百万円	89,395	87,649	89,639
1 株 当 7	た り 株	主資本	円	287.58	282.00	288.58
設 備	投	資 額	百万円	9,703	9,020	4,098
有 利	子	負 債	百万円	172,704	167,439	166,039

(注) 平成14年9月期から、1株当たりに関する指標は「1株当たり当期純利益に関する会計基準(平成14年9月25日企業会計基準第2号)」を適用し、 算出しています。

中間連結決算概要

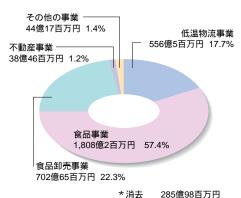
連結子会社数 80社 持分法適用会社数 14社

当中間期の売上高は2.863億39百万円で、水産品・ 畜産品事業などの売上げが伸長したことから、前年同 期に比べ2.3%の増収となりました。加工食品の製造原 価が低減するとともに、健康習慣飲料として定着した アセロラ飲料の売上高が大幅に伸び、水産品・畜産品 の売上げ・収益も増加したことなどから、営業利益は 前年同期に比べ56.2%増益の95億11百万円を計上する ことができました。

営業外収支は、中国産冷凍ほうれん草関連商品の廃 棄損が発生したことなどから16億4百万円のマイナス となりました。なお、金融収支は資金調達コストの低 減により3億87百万円改善しました。

経常利益79億6百万円(前年同期比64.5%の増益)か ら特別損益、税金費用および少数株主損益を控除した 中間純利益は、前年同期に比べ1.4%増益の28億58百 万円となりました。

セグメント別売上高構成比



セグメント別売上高・営業費用・営業利益

(単位:百万円)

当中間期(平成14年4月1日から平成14年9月30日まで)

	売上高	営業費用	営業利益
低温物流事業	55,605	51,690	3,914
食品事業	180,802	173,945	6,857
食品卸売事業	70,265	70,084	181
不動産事業	3,846	1,590	2,256
その他の事業	4,417	4,109	308
計	314,937	301,419	13,518
消去または全社	(28,598)	(24,591)	(4,006)
連結	286,339	276,827	9,511

前中間期(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)

	売上高	営業費用	営業利益
低温物流事業	56,836	52,733	4,103
食 品 事 業	176,079	172,221	3,857
食品卸売事業	69,171	69,310	139
不動産事業	3,387	1,346	2,041
その他の事業	3,967	3,790	176
計	309,441	299,403	10,038
消去または全社	(29,583)	(25,634)	(3,948)
連結	279,858	273,768	6,090

● 低温物流事業

保管型物流事業

当社グループは、保管・輸配送一体型物流のインフラ整備を図るため、新情報システムの構築に着手するとともに、全国の各物流サービスセンター内に株式会社日本低温流通の運送部門を併設しました。また、新南港物流サービスセンターを保管機能と流通機能を備える物流サービスセンターとしてリニューアルオープンしました。品質管理の向上をめざした継続的な取組みとしては、荷捌場の低温化を進めるとともに、3事業所でISO9001(品質保証)の認証を取得しました。

業績につきましては、保管機能と輸配送機能を組み合わせたトータル物流の提案活動に加え、貨物動向の早期把握やお客さまに密着した営業活動を積極的に進める一方、荷役サービス会社を統合するなど、荷役収支の改善に努めましたが、主要得意先の保管貨物の自社倉庫集約や、BSE(牛海綿状脳症)・偽装表示問題などの影響を受けて取扱量が減少したことなどから、売上高・利益は前年同期を下回りました。

なお、当社は、本年10月に食品物流事業に関して名糖運輸株式会社と業務提携・資本提携を行うこととしました。両社の既存インフラを共用することにより、当社グループの強みであるフローズン温度帯と同社が得意とするチルド温度帯を結びつけ、365日24時間対応の低温食品物流の全国ネットワークを確立し、お客さまに高品質で低コストの物流サービスを提供することを提携の目的としています。

● 食品事業

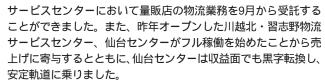
加工食品事業 ——

当中間期の冷凍食品市場は、法定外添加物の使用や残留農薬の 検出などの問題が発生し、生活者の食品に対する不信感が高まる なか、家庭用・業務用ともに需要が停滞しました。当社において も、協和香料化学株式会社製造の香料をごく微量含んだ原料の使 用が判明したグラタン・ドリア、および基準値を超える残留農薬 が抽出された中国産冷凍ほうれん草関連商品のオープンリコール を実施するとともに、中国産冷凍ほうれん草関連商品の販売を自 粛しました。

当社グループは、「マーケットと商品カテゴリー」を組み合わせたSBU(戦略的事業単位)の創出、経営資源の重点分野への集中と営業体制の見直しなど、業態別収益力・営業力の強化に努めました。

流通型物流事業

物流センターの汎用化と新規顧客の開拓により、横浜南物流



3PL (サード パーティ ロジスティクス)事業

株式会社ロジスティクス・プランナーは、お客さまの物流コスト 削減ニーズなどにお応えする物流ソリューションの提案営業活動を 積極的に展開し、新規顧客の開拓に努めました。この結果、洋菓子 チェーン3社の中部地区共同配送(7月稼働)や大手持帰り弁当チェーンの物流センター運営(新潟8月稼働、北海道9月稼働)を受 託したことなどから、売上高は前年同期を上回り、収益面の改善も みられましたが、固定費をカバーするまでには至りませんでした。

欧州 (オランダ・ドイツ)事業 -

欧州グループは、保管機能と輸入通関機能を組み合わせた集荷活動が功を奏し、キューバ・ブラジルからの輸入果汁を安定確保する一方、新規顧客の獲得によりブラジル産チキンの取扱量が増加したことなどから、大手顧客の在庫圧縮などに伴う取扱量の減少をカバーすることができました。なお、激しい集荷競争により輸送事業の利益率が低下し、営業利益は減益となりました。



チキン」、「洋食屋さんのえびピラフ」などの重点商品が伸び悩み、オープンリコールや販売自粛などの影響もあって、売上高は前年同期を下回りました。業務用は、惣菜ルート向けに発売した素材にこだわりを持った「特撰Deliクリームコロッケ(甘えび・かに)」、「本和風鶏唐揚(粉ふきタイプ)」、「衣がサクサク十勝コロッケ」「パリパリ春巻」などが売上高に貢献しました。 損益面では、生産効率の改善や原材料購買力の強化などにより製造原価の低減に

成果を上げるとともに、単品別収益管理の徹底による商流費・物 流費の効率的使用が寄与し、収益は前年同期を大幅に上回ること ができました。

レトルト食品は、熾烈な販売競争の影響を受けて、売上高が前年同期を下回りましたが、収益は前年並みを確保することができました。

アセロラ飲料は、PRプロモーションなどのアセロラ価値創造プログラム活動により、天然ビタミンCがたっぷり含まれた「健康習慣飲料アセロラドリンク」の健康価値が消費者に浸透したことから、売上高・利益はともに前年同期を大幅に上回りました。

なお、最適生産体制の構築の一環として、わかば食品株式会社 の会社解散を決定し、同社のチキン加工品の生産を株式会社ニチ レイフーズや生産協力会社、チキン加工品の原料供給基地である 中国の生産会社へ移転することにより、さらなる品質の向上と製 造原価の低減を進めています。

以上の結果、加工食品事業の売上高は前年同期に比べ減収となりましたが、営業利益は前年同期を大きく上回りました。

水産品事業

当中間期の水産業界は、国内 漁獲量が落ち込むとともに、世 界的な需要の高まりを背景とし て輸入量が減少したものの、消 費量が前年を上回ったことなど から、市場価格は堅調に推移し ました。



当社グループでは、たこ・かになどの集荷に注力したことや 広域販売体制への転換が、売上げ・収益に大きく貢献しました。 流通型加工品・こだわり商品についても、開発・生産体制の強化 などにより、売上げを順調に拡大することができました。また、 海外加工品の品質保証と安定供給を目的とした最適加工体制の構 築に取り組む一方、収益性の高い商品、成長力のある販売ルート への選択と集中を進めました。この結果、売上高は前年同期に比 べ増収となり、営業利益も前年同期を大幅に上回ることができま した。

畜産品事業 ---

当中間期の畜産業界は、昨年発生したBSE(牛海綿状脳症)の 影響から、引き続き牛肉の需要が減退する一方、鶏肉や豚肉は増加するという消費動向が顕著になりました。また、偽装表示など を背景として国産志向が高まり、国産品の市場価格が高騰する反面、輸入畜産物は消費不振から販売価格が下落しました。 当社は、「おいしさ」、「安全」「安心」「健康」、「環境にやさしい」をコンセプトとした品質保証体制の構築と品質管理水準の高度化に努めたことなどから、



「特長ある素材」が市場に受け入れられるとともに、牛肉の販売数量の減少を国産品の鶏肉と豚肉の増加でカバーすることができ、売上高・営業利益はともに前年同期を上回りました。

その他の事業 -

Tengu Company, Inc. (北米)では、米国内における観光客向け販売の低迷が続いたことなどから、その他の事業の売上高は前年同期に比べ減収となりましたが、原料価格の低下などにより営業損失は縮小しました。

● 食品卸売事業

株式会社ユキワは、農・水・畜産物の「フレッシュ」商品のフルライン化と特色のある商品を作り出す「ものづくり機能」を強化する一方、社内LANの活用による業務の効率化と情報の共有化を図りました。また、新たに新南港流通センターを稼働させ、物流機能の効率化や物流費の低減に努めました。なお、株式会社リョーショクフードサービスとの合併(平成15年10月予定)に向けた準備を進めています。

● 不動産事業

分譲事業は、埼玉県川越市 (17区画)などの宅地分譲を実施し、合計20区画の売上げを計上しました。また、「幕張ガーデンフォート(千葉市花見川区)」のマンション分譲販売を11月から開始しました。賃貸事



業につきましては、賃貸用オフィスビル「ニチレイ天満橋ビル(大阪市北区)」を6月から稼働させるとともに、10月に竣工した幕張新住宅展示場(千葉市花見川区)の用地として土地の賃貸を開始しました。

◆ その他の事業

主として、バイオサイエンス事業が化粧品原料の取扱高の増加などにより大幅な増収・増益となったことから、その他の事業の売上高・営業利益はともに前年同期を上回りました。

中間連結貸借対照表(要旨)

-	114 / 1	エエロヽ	
	里177		

科目	当中間期 平成14年9月30日現在	前期 平成14年3月31日現在	科目	当中間期 平成14年9月30日現在	前期 平成14年3月31日現在
資産の部			- <u>- </u>		
流 動 資 産	132,944	127,893	流 動 負 債	154,710	164,665
			支 払 手 形 及 び 買 掛 金	47,863	45,087
現 金 及 び 預 金	4,020	3,587	短 期 借 入 金	31,552	43,401
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	83,469	78,844	コマーシャルペーパー	30,000	15,000
たな卸資産	37,586	36,794	長期借入金(1年以内返済)	6,911	7,287
			社債(1年以内償還)	5,000	25,000
繰 延 税 金 資 産	1,681	2,032	転換社債(1年以内償還)	6,307	
その他の流動資産	6,464	6,935	未払法人税等	2,581	1,587
貸倒引当金	277	300	その他の流動負債	24,493	27,300
			固定負債	109,342	100,062
固 定 資 産	221,741	225,491	社 債	45,000	25,000
有 形 固 定 資 産	164,372	167,277	転 換 社 債 長 期 借 入 金	44.000	6,307
建物及び構築物	95,092	96,611	長 期 借 入 金 繰 延 税 金 負 債	41,268 215	45,444 210
	•	· ·	退職給付引当金	3,833	4,020
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	19,605	20,721	役員退職慰労引当金	680	754
土 地	45,110	45,221	預り保証金	18,219	18,196
建設仮勘定	2,917	3,041	その他の固定負債	125	128
その他の有形固定資産	1,646	1,680	負 債 合 計	264,052	264,728
	•		少数株主持分	993	1,007
無形固定資産	6,637	6,885	資 本の部		
投 資 等	50,731	51,329	資 本 金	30,307	30,307
投 資 有 価 証 券	34,530	36,320	資本 剰余金	23,704	23,704
			利 益 剰 余 金	34,447	32,694
繰 延 税 金 資 産	4,068	3,884	その他有価証券評価差額金	1,206	294
その他の投資等	13,856	12,663	為替換算調整勘定	69	663
貸 倒 引 当 金	1,723	1,539	自己 株 式	96	15
	·	· ·	資 本 合 計	89,639	87,649
資 産 合 計	354,686	353,385	負債、少数株主持分及び資本合計	354,686	353,385

(注)1. 有形固定資産の減価償却累計額 176.131百万円 2. 保証債務 7,165百万円

3.1株当たり中間純利益 9円20銭 4. 中間連結財務諸表規則の改正に伴い、資本準備金は「資本剰余金」、連結剰余金は「利益剰余金」

としてそれぞれ区分表示しています。 5. 中間連結財務諸表規則の改正に伴い、当中間期の「自己株式」の金額には、持分法適用会社が 保有する当社株式の持分相当額を含めて表示しています。

6. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間連結 貸借対照表

【固定資産:有形固定資産の減少】

当中間期の連結ベースでは、 有利子負債を削減するため減価 償却費の範囲内に設備投資を抑 制したことから、有形固定資産 は前期末に比べ29億4百万円減少 しました。

【負債:有利子負債の減少】

引き続きフリーキャッシュ・ フローの一部を有利子負債の削 減に充当したことから、当中間 期末の有利子負債残高は1,660億 39百万円となり、前期末に比べ 14億円減少しました。

【資本:その他の項目】

その他有価証券評価差額金は株式の一部売 却などに伴い9億12百万円増加し、自己株式も 新会計基準の適用などにより81百万円増加し ました。なお、為替換算調整勘定は、前期末 に比べ米ドルが円高になったことなどから5億 93百万円減少しました。

中間連結損益計算書(要旨)(異位: 百万円)

Ā	斗	目		当中間期 平成14年4月 1日から 平成14年9月30日まで	前中間期 平成13年4月 1日から 平成13年9月30日まで
売	上		高	286,339	279,858
売	上	原	価	234,094	229,986
販売	き費及び	一般管	理費	42,733	43,781
営	業	利	益	9,511	6,090
営	業	外 収	益	1,091	1,191
営	業	外 費	用	2,695	2,474
経	常	利	益	7,906	4,806
特	別	利	益	207	107
特	別	損	失	3,088	1,907
税金等	等調整前	中間純	利益	5,026	3,007
法人	、税、住民	税及び事	業税	2,657	1,251
法	人税(等 調 虫	整 額	498	1,018
少数	枚株主利	益(損タ	€)	8	43
中	間 純	,利	益	2,858	2,818

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間連結 損益計算書

【営業利益】

水産品事業の増収効果などに加え、製造 原価の低減やアセロラ飲料の売上げの増加 により加工食品事業が大幅に採算を改善 し、単品別収益管理の徹底により販売費も 減少したことなどから、営業利益は前年同 期比56.2%増益となりました。

中間連結剰余金計算書(要旨)(単位: 百万円)

科 目	当中間期 平成14年4月 1日から 平成14年9月30日まで
資本剰余金の音	图
資本剰余金期首残る	3 23,704
資本剰余金増加高	
資本剰余金減少	
資本剰余金中間期末残る	高 23,704
利 益 剰 余 金 の 音	FIS .
利 益 剰 余 金 期 首 残 雨	高 32,694
利 益 剰 余 金 増 加 高	高 2,858
中 間 純 利 🔝	会 2,858
利 益 剰 余 金 減 少 高	高 1,106
配当	章 932
取締役賞与	主 173
利益剰余金中間期末残	高 34,447

(注)1.中間連結財務諸表規則の改正に伴い、資本剰余金の部および利益剰 余金の部に区分し、それぞれの増減および残高を表示しています。 2. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)(単位・百万円)

科目	当中間期 平成14年4月 1日から 平成14年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,507
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,464
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,514
現金及び現金同等物に係る換算差額	83
現金及び現金同等物の増加額	445
現金及び現金同等物の期首残高	3,559
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,004

(注)1.現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表(要旨) に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金 4,020百万円 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 16百万円 現金及び現金同等物の中間期末残高 4,004百万円 2.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

→ グループ中期経営計画(2001年度~2003年度)について ◆

当社グループは、2003年度(平成15年度)を最終年度とするグループ中期経営計画に掲げた経営目標の達成に向けて、重点経営課題に取り組んでまいりました。

しかしながら、依然として混迷する経済情勢のなか、 当初目標の達成は困難な状況となりましたので、次のと おり目標を修正いたします。

中期経営計画によるセグメント別の重点方針

追加施策の内容

低温物流事業における情報インフラの整備 食品事業におけるプランド力の強化 (株)ユキワグループの持分法適用会社への移行 (2003年10月以降)

グループ経営目標(連結)

区分	単位	2001 年度 (実績)	2002 年度 (予想)	2003 年度 (修正目標)	2003 年度 (当初目標)
売 上 高	百万円	558,191	579,000	548,000	650,000
営業利益	百万円	14,016	17,900	18,500	23,000
経常利益	百万円	11,684	15,300	17,000	20,000
当期純利益	百万円	4,062	6,000	8,300	9,500

なお、有利子負債残高1,450億円以下に変更はありません。



低温物流事業

3PL事業や流通型物流事業は、お客さまの物流効率化ニーズにお応えするため、物流センターの共同化や共同配送などの物流ソリューションサービスを積極的に展開し、売上高の拡大を図ります。

また、保管型物流事業では、冷蔵倉庫や輸配送の業務の地域一体運営による機能の強化とローコスト化に加え、地域内の小口貨物を対象とした新配送サービスの導入により、地域内物流サービスのさらなる活性化に努めます。加えて、名糖運輸株式会社との幹線輸送分野やセンターの利用面での協業により、新規顧客の獲得とローコスト化を進めます。

1...3PL事業

Third Party Logistics (サード パーティ ロジスティクス) の略称で、お客さまに対して商品の受発注・在庫管理、輪配送、情報化までの包括的な物流改革を提案し、一括して物流業務を受託する事業です。 2...流通知物酒事業

量販店や外食業者などに対して配送センターの機能を提供する事業です。

食品事業

加丁食品事業

高度な食品加工技術と水産品事業・畜産品事業を通じて調達する差別化された素材が加工食品事業の強みです。これらの強みを活かすとともに、既存商品群におきましては、カテゴリーごとの損益管理の徹底により、利益率・成長率の高い商品カテゴリーの売上高を大きく伸長させます。新商品の開発面では、「上等洋食」シリーズなどのプレミアム商品やお客さまが期待する「安全・安心」にお応えする商品の開発を進め、他社との差別化に努めます。さらに、「大型生産ラインによる大量生産型商品」や「ローコスト手作り商品」

などのタイプ別に生産拠点の再配置を進めることで生産効率を改善させ、生産原価の低減を追求します。

水産品事業・畜産品事業

差別化された原料の提供や、素材品から調理済食品までの豊富なラインアップでお客さまのニーズにお応えするなど、商品政策・販売政策の両面で加工食品事業とのシナジーを追求します。また、市況リスクを軽減する商品政策や、棚卸資産の回転率の向上などにより、収益の安定化を図ります。

食品卸売事業

株式会社ユキワは、物流機能の革新により、事業基盤のさらなる強化を進めるとともに、業務改革運動の継続的推進により、生産性の向上と固定費の削減を図り、収益体質の改善に努めます。なお、同社は、平成15年10月1日を目処として株式会社菱食から会社分割される株式会社リョーショクフードサービスとの合併を予定しています。

不動産事業

グループ内資産の効率運用を積極的に進めます。

その他の事業

中間単独決算ハイライト

平成10年 11年 12年 13年 14年

中間配当金は1株につき3円とし、平成14年12月3日を支払開始日とさせていただきました。

平成10年 11年 12年 13年 14年

平成10年 11年

売上高 営業利益 (年度/単位: 百万円) 当期利益 (年度/単位: 百万円) 純資産 (年度/単位:百万円) (年度/単位:百万円) ○ 中間期 ○ 通期 ○ 中間期 ○ 通期 ○ 中間期 ○ 通期 ○ 中間期 ○ 通期 407.531 409.424 412.855 414,993 (予想) 10.600 87.240 10 966 (予想) 84.975 83 599 2,566 82,202 83,306 2.473 2,407 7.475 1.458 6.076 209,360 209,178 209,870 208.886 213,051 6,023 4.236 3.097 2 757 4,104 4,56

(注)単独通期予想(平成14年11月8日公表)は、公表時点における情報に基づき判断されたものです。実際の業績につきましては、経営環境の変化等により記載した予想とは異なる結果になる可能性があります。

12年 13年 14年

平成10年 11年

	X	分		単位	第 81 期中間期 (平成10年度)	第 82 期中間期 (平成11年度)	第 83 期中間期 (平成12年度)	第 84 期中間期 (平成13年度)	第 85 期中間期 (平成14年度)
売	_	E	高	百万円	209,360	209,178	209,870	208,886	213,051
営	業	利	益	百万円	2,757	6,076	8,396	3,097	6,023
経	常	利	益	百万円	2,115	5,215	8,071	3,130	5,385
中	閰	利	益	百万円	4,104	3,144	1,012	1,089	1,458
1 株	当たじ	中間和	间益	円	13.20	10.11	3.25	3.50	4.69

	X	5	}	単位	第 81 期 (平成10年度)	第 82 期 (平成11年度)	第 83 期 (平成12年度)	第 84 期 (平成13年度)	第 85 期中間期 (平成14年度)
総		資	産	百万円	277,498	264,619	270,743	273,597	282,984
純		資	産	百万円	82,202	83,306	89,160	84,238	86,145
1	株当た	: り純	資産	円	264.44	267.99	286.82	271.02	277.21
設	備	投資	質 額	百万円	5,301	3,482	5,020	5,936	3,185
有	利	子(負債	百万円	126,877	107,712	104,953	116,203	121,967

- (注)1. 事業税の表示変更に伴い、第81期中間期の営業利益および経常利益は事業税額を加算して記載しています。
 - 2. 第84期中間期から、1株当たりに関する指標は自己株式数を控除して算出しています。
 - 3. 第85期中間期から、1株当たりに関する指標は「1株当たり当期純利益に関する会計基準 (平成14年9月25日企業会計基準第2号)」を適用し、算出しています。

9

中間単独決算概要

中間単独貸借対照表(要旨)

(単位	:	百万円)

前期

平成14年3月31日現在

科 目		当中間期 平成14年9月30日現在	前期 平成14年3月31日現在
資 産 の	部		
流 動 資	産	111,779	105,983
現金・預	金	1,469	1,112
受取手形・売掛	金	64,523	59,557
棚 卸 資	産	27,178	26,745
繰 延 税 金 資	産	772	1,015
短 期 貸 付	金	14,868	13,420
その	他	3,427	4,353
貸倒引当	金	461	220
固 定 資	産	171,205	167,613
有 形 固 定 資	産	107,171	103,702
建	物	58,353	56,506
機 械 装	置	13,424	12,744
土	地	29,079	28,104
その	他	6,313	6,347
無形固定資	産	3,794	3,791
投資	等	60,239	60,118
投 資 有 価 証	券	28,897	30,688
子会社株	式	12,180	12,891
繰 延 税 金 資	産	2,198	2,205
その	他	18,391	15,398
貸 倒 引 当	金	1,428	1,065
資 産 合	計	282,984	273,597

負 債 の 部		
流 動 負 債	126,568	131,678
支 払 手 形 ・ 買 掛 金	32,458	29,222
短 期 借 入 金	26,697	35,651
コマーシャルペーパー	30,000	15,000
社 債 (1 年 以 内 償 還)	5,000	25,000
転 換 社 債 (1 年 以 内 償 還)	6,307	
長期借入金(1年以内返済)	2,539	1,865
引 当 金		520
そ の 他	23,566	24,418
固 定 負 債	70,270	57,680
社 債	45,000	25,000
転 換 社 債		6,307
長期借入金	6,423	7,378
引 当 金	548	658
預 り 保 証 金	18,290	18,328
そ の 他	7	7
負 債 合 計	196,838	189,359
資 本 の 部		
資 本 金	30,307	30,307
資 本 剰 余 金	23,704	23,704
利 益 剰 余 金	31,492	30,473
(うち中間または当期利益)	(1,458)	(2,473)
その他有価証券評価差額金	678	232
自 己 株 式	38	15
資本合計	86,145	84,238
負 債 及 び 資 本 合 計	282,984	273,597

当中間期

平成14年9月30日現在

- (注)1. 有形固定資産の減価償却累計額
 - 2. 保証債務

貸借対照表

3.1株当たりの中間利益

137,718百万円 31,860百万円 4円69銭

- 4. 「自己株式及び法定準備金の取崩等に関する会計基準(平成14年2月21日 企業会計基準第1号)」を適用し、資本の部の区分を変更しています。
- 5. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

【固定資産:有形固定資産の増加】

設備投資の実施に加え、生産子会社4社の合併 により建物等の固定資産48億8百万円を引き継いだ ことから、減価償却費などを差し引いた有形固定 中間単独 資産は、前期末に比べ34億68百万円増加しました。

*平成14年4月、次の子会社を合併しました。

(株)白石ニチレイフーズ、(株)山形ニチレイフーズ、 (株)長崎二チレイフーズ, 梅町マルイチ加工(株)

【固定負債:社債の発行】

第17回無担保社債 第18回無担保社債 社債間限定同順位特約付)(社債間限定同順位特約付) 発 行 額 金100億円 金100億円 率 年0.99% 年1.42% 発 行 日 平成14年8月16日 平成14年8月16日 償還期限 平成19年8月16日 平成21年8月14日 ます。

【資本:資本剰余金・利益剰余金】

開催)で承認可決された資 本準備金および利益準備金

中間単独損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科	目		当中間期 平成14年4月 1日から 平成14年9月30日まで	前中間期 平成13年4月 1日から 平成13年9月30日まで
売	=	高	213,051	208,886
売 上	原	価	176,242	174,461
販売費及び	一般管理	費	30,785	31,327
営 業	利	益	6,023	3,097
営 業	外収	益	1,077	1,298
営 業	外 費	用	1,715	1,265
経 常	利	益	5,385	3,130
特 別	利	益	18	142
特 別	損	失	2,913	1,419
税 引 前 中	目 利	益	2,490	1,853
法人税、住民	₹税及び事業	〔税	1,349	67
法人税	等調整	額	317	696
中間	利	益	1,458	1,089
前 期 繰	越 利	益	2,080	2,031
合併による未	処分利益受 <i>)</i>	額	523	
利 益 準 備	金取崩	額	5,711	
中間未如	1 分 利	益	9,774	3,121

その他の事業 0.5% 低温物流事業 13.4% 11億18百万円 286億31百万円 不動産事業 1.4% 保管型物流 10.1% 29億72百万円 215億50百万円 流通型物流 3.3% 70億81百万円 畜産品 16.7% 356億80百万円

当中間期の事業別売上高構成比

2,130億51百万円 水産品 27.2% 580億38百万円 食品事業 84.6% - 加工食品 40.7% 1,803億28百万円 866億9百万円

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間単独

損益計算書

【売上高】 食品の「安全・安心」に対する不信

感の高まりを背景として、低温物流事 業や加工食品事業が減収となる一方、 堅調な需要に支えられた水産品事業の 売上高は伸長し、全体では前年同期に 比べ2.0%の増収となりました。

【営業利益】

冷凍食品の単品別収益管理による収 益の改善や、「健康習慣飲料 アセロラ ドリンク」の増収・増益効果に加え、 たこ・かになど水産品の販売数量の伸 びなどにより、前年同期に比べ94.5% の増益となりました。

【特別損失】

主な内訳は、投資有価証券の売却損 17億39百万円、子会社解散による整理 損失4億59百万円、固定資産の除却損3 億18百万円です。

11

12

次のとおり無担保社債200億円を発行しました。

科

目

第84期定時株主総会(6月

の各減少額は、当中間期末 で資本剰余金および利益剰 余金にそれぞれ計上してい





http://www.nichirei.co.jp/

ニチレイ このたび、当社のホームページを全面リニューアルしました。ラロのリーューアルではページデザインを一新するとともに、見たいページを迷うことなくご覧いただけるように、使いやすいホームページ作りに努めました。

「天然ピタミンCワールド

体に良く効く天然ビタミンCの 話題が満載です。季節ごとにお 届けします。



地球食彩紀行

ウェルネス食品部で発行し、ご好評をいた だいている冊子「WELLNESS」に掲載中 の世界各国の食文化をご紹介しています。





お問い合わせコーナー

従来の商品に関するお問い合わせに加え、ホ ームページを公開している各事業部門別に窓 口を開設いたしました。どのページからでも お問い合わせいた

だけます。

(ミナコの健康応援談

季節ごとに、食にまつわる元気が でる知識をお届けします。

投資家情報

株主・投資家の皆さま向けに各種 情報を公開しています。財務デー タファイルや各種PDFファイルの ダウンロードもできますのでご利 用ください。また、英文版ページ も公開しています。



Introduction ご好評の商品をご紹介します

スープ・スペシャリテシリーズ





素材の持ち味をそのままに、コーンポタージュとクラムチャウダーが新登場しま した。ご家庭で牛乳を加えるだけで本格派の味わいをお楽しみいただけます。保存 料、着色料、化学調味料は、一切加えていません。

【コーンポタージュ】

糖度が一番高いときに収穫した北 海道産とうもろこしを使用しています。 砂糖を加えずに仕上げた、新鮮なと うもろこし本来の甘さが味わえます。

【クラムチャウダー】

まろやかでコクのあるスープに自然 の旨味がたっぷりの海の幸。この吟味 した豊かな風味をお楽しみください。

えびカツミニ



人気の『えびカツ』がよりお弁当 に使いやすいサイズとなってリニュ ーアルしました。やわらかな白身魚 のすりみに殼付きでボイルしたぷり ぷりのえび「ブラックタイガー」が たっぷり入って、色鮮やかに食感が アップしました。

・チーズペンネグラタン



生クリーム入りでコクのあるなめ らかなホワイトソースと、4種類のチ ーズを贅沢に使った香ばしさがお楽 しみいただけます。デュラムセモリ ナ100%のペンネに甘みのあるコー ン、マッシュルームがたっぷり。朝 食やおやつに、また夕食のもう一品 にお薦めです。

銀鮭の塩焼き



脂がのった色鮮やかな銀鮭に、「沖 縄の塩 シママース」を炒ったこだ わりの塩で下味をつけて、ふっくら ジューシーに焼き上げました。まろ やかな塩味が、銀鮭の風味を引き出 しています。お酒の肴としても楽し める本格的な焼き魚料理です。

鶏ささみのチーズカツ



ヘルシーな鶏のささみにチーズを 入れて、軽い衣で包み、ヘルシーオ イルで揚げました。ささみのさっぱ りした味わいと、チーズのコクやバ ーベキューソースがぴったりマッチ。 お弁当のおかずに、サンドイッチに と大人からお子さままで楽しめるお いしさです。

お母さんの愛情をしっかりにぎりました。

これぞ、新定番!



自然のおいしさを大切に

保存料・着色料・化学調味料 を使用しておりません

お母さんの愛情が一杯つまった「おむすび」は、子どもたちに伝えていきたい大切な日本の味です。でも、「炊きたてのご飯は熱くてにぎりづらい」、「忙しいときにご飯を炊いたり、具材を用意したりするのはどうも」という声があるように、本当においしい「おむすび」をつくるのは意外に難しく、また手間がかかります。

忙しいお母さんを応援したい…そんな気持ちを込めて、「ニチレイ 日本の味 おむすび」をつくりました。 ぜひご賞味ください。



日本の味 おむすび (紅鮭) 4個人 400円 (メーカー希望小売価格・税別)



日本の味 おむすび (焼たらこ) 4個人 400円 (メーカー希望小売価格・税別)

「おいしい」「買ってみたい」と思う 冷凍食品のおむすびは?

- 1 好みの具材が入っている
- ② なかの具にこだわっている
- 3 お米の一粒一粒がしっかり たっている
- ◆ 添加物や保存料を使っていない。
- **5** 子どもでも電子レンジなど で簡単に調理できる
- 6 保存が利いて買い置きができる

おむすびは食べたいけれど、 家庭ではなかなかつくらないという、 お母さんの声を聞きました。

- 🕕 具材の用意が面倒
- 2 数を多くつくるのも大変
- 3 案外手間がかかるので時間 がないときは面倒
- 4 手づくりだと衛生面に気を 使ってしまう
- 5 ご飯が熱いと手が真っ赤に なるし、冷めてからにぎる とおいしくない

















種類のつけあわせに

開発の **POINT**

素材の味が活きています

保存料・着色料・化学調味料を一切使わずに仕上げました。冷凍食品だからこそ味わえる素材のおいしさをお楽しみください。

厳選素材を使いました

お米は冷凍でもおいしさが変わらない「きらら」を使用。 瀬戸内産の良質な海苔を選び、塩はミネラル分やカルシウム分が多くやさしい味の「沖縄の塩 シママース」、中具に は天然の紅鮭と無着色のたらこ、どちらも香ばしく焼き上 げてきちんとおむすびの真ん中に入れました。

手づくり感にこだわりました

おむすびのおいしさには、にぎり方が影響します。炊きたてのあつあつのうちににぎる、ご飯がつぶれないようふっくらしっかりにぎる、手に塩をつけて程よい塩加減に仕上げる…そんなおいしいおむすびのつくり方に忠実につくりました。

【開発苦労話】

ご家庭では手を水で湿らせて塩をつけてご飯をに ぎります。ほんのり塩味が、にぎったお米の回りに ついている手づくりのおむすびのおいしさは何とも いえません。しかし、これをすべて機械でつくると なると大変です。塩が1箇所に固まっては商品にな らず、また、万遍なく塩をつけることができても、 つけ過ぎるとしょっぱくて食べられない、薄いと物 足りない。その塩加減が技術的にとても難しかっ た点といえます。

もう1点は、にぎったお米のふっくら感。手でに ぎれば力加減も調節できますが、機械で実現しよう とすると、強くにぎり過ぎてお米がつぶれて硬くな ってしまったり、逆に弱すぎると手で持ちづらかっ たり割れてしまったり。この課題をクリアするため に何度も試行錯誤を繰り返しました。

15

株式の状況 (平成14年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	720,000,000株
発行済株式の総数	310,851,065株
1 単元の株式数	1,000株
株主数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29,023名

大株主

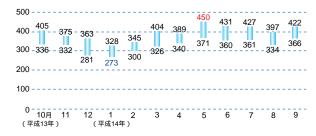
株 主 名	持株数(千株)	議決権比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	33,679	10.9
日本生命保険相互会社	17,334	5.6
株式会社UFJ銀行	13,249	4.3
株式会社損害保険ジャパン	12,060	3.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,035	3.3
みずほ信託退職給付信託みずほコーポーレート銀行口 再信託 受託 者資産管理 サービス信託	8,056	2.6
株式会社みずほコーポレート銀行	7,485	2.4
UFJ信託銀行株式会社(信託勘定A口)	6,482	2.1
第一生命保険相互会社	6,351	2.1
ユーロクリア バンク エスエー/エヌブイ	5,731	1.9

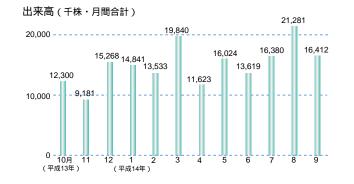
(注)持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。

株価チャート

所有者別株式数分布状況

株価(円)





所有者別株主数分布状況

個人 28,242名 97.3% 101名 0.3% 181,557 千株 58.4% 42名 0.1% 1,877 千株 0.6% 1,877 千株 10.5% 32,770 千株 10.5% (個人 68,674 千株 22.1% 120 千株 0.0%



本 社

会 社 概 要 (平成14年9月30日現在)

社 名 株式会社ニチレイ
所 在 地 東京都中央区築地六丁目19番20号 ニチレイ東銀座ピル
設 立 昭和17年12月
従業員数 1,863名 (参考)ニチレイグループ 6,712名
役 員
代表取締役 会 長 大 戸 武 元
代表取締役 社 長 浦 野 光 人
取 締 役 専務執行役員 福 田 厚 司
取 締 役 専務執行役員 橋 田 淳 司
取 締 役 専務執行役員 橋 敏 秀
取 締 役 常務執行役員 原 直 弘
取 締 役 常務執行役員 村 上 英 彦
取 締 役 常務執行役員 前 嶋 弘 一

双 締 役執行役員 笠 井 剛 執 行役員 坂 口 帮 級 締 役執 行役員 相 馬 義比古 執 行役員 長谷川 易 紙 査 役(常勤)青 木 信 吾 執 行役員 大 平 潤 - 益 査 役(非常勤)河 上 和 雄 執 行役員 廣 瀬

支 社

・北海道支社 〒060-0807 札幌市北区北7条西1-2-6

25(011)708-0791

・東北低温物流支社 〒980-8486 仙台市青葉区中央3-2-1

・東北営業支社 🕿 🖎 (022)711-2101

• **関東低温物流支社** 〒104-0043 東京都中央区湊3-5-7

· 関東営業支社 25(03)3297-4501

・中部低温物流支社 〒456-0072 名古屋市熱田区川並町2-16 ・中 部 営 業 支 社 ☎(052)683-2551

• **関西低温物流支社** 〒530-0043 大阪市北区天満1-3-21

· 関 西 営 業 支 社 ☎(06)6357-2011

・九州低温物流支社 〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-7-5

· 九 州 営 業 支 社 **25**(092)841-6700

会計監查人 新日本監査法人

東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル

アンケートにご協力ください

当社は、この「HOPPE(ほっぺ)」を株主の皆さまとのコミュニケーションの場として充実させていきたいと考えています。お手数ですが、次のアンケートにご回答、ご意見をお寄せください。(なお、ご投函に際して返信用切手の貼付は不要です。)

--キリトリ線

株主の皆さまへ アンケートのお願い

株式銘柄選定の際、判断される材料はどのようなことですか?

- 1. 知名度が高い 2. 製品等の品質が優れている 3. 財務状態がよい
- 4.成長が期待できる 5.配当が高い 6.株主優待がある

当社平成14年6月定時株主総会終了後に開催した「懇親試食会」 に出席されましたか?

- 1.はい 2.いいえ
- A:「はい」と回答された方にお伺いいたします。 今後も開催してほしいですか?
 - 1. 開催してほしい 2. 開催する必要はない

内容はいかがでしたか?

1.満足した 2.不満であった

上記の「2.不満であった」と回答された方にお伺いいた します。どのような点がご不満だったでしょうか? (複数回答可)

- 1.会場が狭い 2.開催時間が短い 3.試食品の種類が少ない
- 4. 役員ともっと話がしたかった 5. 会場案内の手際が悪い
- 6. その他(

B:「いいえ」と回答された方にお伺いいたします。

1. 会場が遠い 2. 開催を知らなかった

出席されなかった理由は何でしょうか?

- 3. 時間の都合がつかなかった 4. 試食会では不十分
- 5. 興味がない 6. その他(

当社または当社製品に対するご意見などがございましたらお聞かせください。